

日田高校定時制 学校だより ♪希望・理想・使命♪

祝 卒業!

～ 学校生活に輝きを放つ皆さんの足跡は、私達の記憶のなかに未永く残り続けます ～

卒業式



◇全日制・定時制合同の卒業式が本校体育館で10時から行われました。保護者、在校生が見守る中、各担任に引率された卒業生たちが席に着き、厳かに式が始まりました。全日制234名、定時制13名の生徒が卒業証書を授与されました。

◇壇上上がった生徒たちは、各学年の担任から名前を読み上げられ、一人一人手渡しで藤永校長から卒業証書を受け取りました。式は肅々と進み、定時制の代表として4年生の矢野悠さんが卒業記念品目録贈呈を行いました。

卒業生激励会

◇午前中の厳粛な式典とは趣の異なるアットホームな感じの定時制独自の卒業生激励会。校長先生の挨拶のあと、たくさんさんの表彰を受け、松野教育振興会長、佐藤同窓会長、藤原PTA会長から励ましと労いのことをいただきました。担任のはなむけの言葉、そして、卒業生のこれからの活躍を願っておきなエールが送られました。生徒一人一人のあいさつには、その場に同席させてもらった教職員や在校生みんな感動をもらいました。保護者の方もきつと胸がいっぱいになったことでしょう。笑顔にあふれていました。卒業されたみなさんの活躍を願っています。



グループエンカウンター(人間関係づくり)の授業を実施しました!



◇2月22日(水)、1年生のHRAで、集団づくりを目的にしたグループエンカウンターを実施しました。
◇『エンカウンター』の辞書的な意味は『出会い』。教育や医療、福祉の現場で実施されている『エンカウンター』とは、ホッペを表現し合い、それを互いに認め合う体験のことをいいます。この体験が自分や他者への気づきを深めさせ、人とともに生きる喜びや、わが道を力強く歩む勇気をもたらす効果があると言われています。
◇今回の授業で取り上げた『人間コピー機』というエクササイズは、描かれている絵の情報を伝え合い、協力して絵を完成させるという内容です。一見すると簡単に思えますが、言葉だけで伝える作業は意外と難しく、生徒たちも四苦八苦していました。課題をやり遂げるなかで、自然と交流を深めることができるというわけです。
◇人間関係が希薄となり、自然にエンカウンターする機会が持ちにくくなっている今、教育現場では、教師がリーダーとなりエクササイズを実施し、集団でエンカウンターを体験して心を育てようとしています。今回は1年生だけの実施でしたが、来年度はすべての学年で行う予定です。

予餞会



◇3学期が始まってすぐ準備期間に入り、クラスごとに分かれて、卒業する先輩へ感謝や激励の気持ちを込めた作品づくりに取り組んできました。様々な問題をクリアし、ラスト1週間で追い込みが完成しました。
◇1年生は「おもしろ動画と鶴の木」、2年生は「マネキンチャレンジ」、3年生は「映像紙芝居」。どの学年も生徒たちがビデオやスマホ、パソコン等のICT機器を駆使して作っており、以前は教員が担当していた編集作業なども、今は生徒たちでやっています。
◇クラス発表後の卒業生のパフォーマンスは感動的でした。3年の木下さんが「仰げば尊し」をアカペラで歌い、4年の矢野さんは、在校生や先生、そして美味しい給食を作ってくれた2人の調理員さんへ向けたメッセージを歌と一緒に届けられました。
◇定時制の「予餞会」はずっと引き継いでいってほしい行事だと思います。

芸術鑑賞会



◇平成29年2月3日(金)午後6時20分〜9時15分にかけて、本年度は日田市三本松の映画館「リベルテ」で映画鑑賞会を行いました。
◇まず、「リベルテ」のオーナーである原さんによるミニトークイベントがあり、地域の映画館のあり方や若者のメッセージについてお聞きし、その後映画鑑賞に入りました。
◇今回の映画は生徒の希望調査の結果をもとに「オケ老人」に決定し鑑賞しました。もう鑑賞された方もいるかも知れませんが、笑いあり、涙ありの感動にあふれた内容で、館内でも生徒たちの沢山の笑い等が聞こえていました。
◇趣味で楽器を練習している私も、この映画の中で地道な練習の積み重ねの大変さや楽器を演奏する楽しさを改めて感じさせられました。好きな曲を歌ったり、楽器を演奏するなど音楽を楽しむ方法は沢山ありますが、是非、生徒には音楽を通して開放感や達成感などを味わいストレス解消や趣味(楽器演奏等)づくりにつなげてもらいたいと思います。今回参加者した42名にとつて約2時間20分の鑑賞会の時間は、大変有意義な時間になったと思います。

【耕不怠】

◇とうとう三月となり、四年生そして三修制の三年生が卒業を迎えました。日田高定時制の日々はどうだったでしょうか? 目をつぶれば様々な出来事が思い起こされることでしょう。卒業生激励会の際には、生徒だけでなく担任の先生方もこれまでの思い出としてこの日を迎えることのできた喜びを語っていたのが印象的でした。卒業以降の日々も、まだ仕事帰りに保健室に寄っていた卒業生らが一入また一人と居なくなったのは、寂しくもあり、それぞれが次の道へと歩を進めている証でもあり、頼もしくも思いました。これからも元気で各々の場所でがんばります。
そして何かにつまずくことがあれば、またいつでも顔を見せてください。

◇三月十一日に東日本大震災から六年を迎えました。ともすれば様々な情報の中、記憶の片隅に追いやられていることもありすが、まだまだ避難生活を送られている方が十二万人余り、避難先でいじめに合っているという報道も後を絶ちません。今年度の四月には大分も熊本・大分地震で多大な被害を受けました。この現実を忘れることなく、それぞれが今できる事を懸命に取り組むことが大事なことです。この数日の報道を見て感じました。
みなさんはいかがですか?
一生の間に一人の間でも幸福にすることが出来れば自分の幸福なのだ
(川端康成)

3月残りの行事予定

- 15(水) ボウリング大会
- 22(水) クラスマッチ
- 23(木) 各種委員会・大掃除
- 24(金) 終業式
- 30(木) 離任式

